

「元気とやま創造計画アクションプラン(R5年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	9 子どもの可能性を伸ばす教育の推進
政策目標	子どもたちが、知識・技能を身につけるとともに、それを基盤としながら、自らの可能性を発揮して、未来を切り拓いていく力を育む教育が行われていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R5予算額
(1) 確かな学力の育成	■児童生徒の基礎学力の定着と向上 ・とやま型学力向上総合支援事業 ー全国学力・学習状況調査等の結果分析と、それを学校改善、授業改善に活用するための体制の充実 ー「とやま型学力向上プログラム」の充実と各市町村の学力向上プランに基づく取組みへの総合的な支援 ・GIGAスクール構想推進事業 1人1台端末等を活用した効果的な授業実践のため、小中学校教員を対象とした研修等を実施 ・ICT教育推進事業(再掲) デジタルコンテンツの活用促進や、教員のICT活用指導力の向上など、ICT教育環境の一層の充実 ・【拡】とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業 全県立学校において、スクールポリシーなどに基づいたカリキュラム・マネジメントを推進し、他者と協働的に関わりながら、新しい時代を創造する力を育成するため、課題解決型教育やSTEAM教育を推進するプロジェクト学習を支援する。 ・土曜日の豊かな教育活動推進事業(再掲) 地域人材を活用した多彩な教育活動を推進するため、土曜日の学習活動や授業を支援	10,183
	■国際人として活躍する資質を育成する教育の充実 ・とやまグローバル人材育成促進事業 高度な英語力をもち、世界で活躍するグローバル人材を育成するため、小中学校教員を対象にした研修会を充実させるとともに、小・中学校における英語教育の研究推進を支援し、教員の英語指導力の向上を図る ・語学指導等を行う外国青年招致事業(再掲) 英語を母国語とする外国青年を招致し、外国語指導助手(ALT)として県立学校及び総合教育センターに配置 ・英語・グローバル教育充実事業(再掲) 高度な英語力を持ち、世界で活躍するグローバル人材を育成するため、学習到達目標の活用を促進し、全県で英語指導の一層の充実を図る ・高等学校生徒海外派遣事業(再掲) 高校生を海外に派遣し、現地高校生と交流を図る ・とやまの高校生留学促進事業 高校生等の異文化理解を深め、我が国と海外の国との相互理解と友好親善に寄与する人材育成のため、県内高校生等に留学支援金を給付し、海外留学の促進を図る ・とやま型スーパーグローバルハイスクール事業 ふるさとに誇りと愛着を持ちながら、国際的素養を身につけ、地域や国際社会の課題を解決できる人材を育成するため、海外大学等での研修実施校を支援 ・学習支援等大学生派遣事業 県内および近県の教員志望の大学生を小学校の外国語活動の授業補助者として派遣	644
	■科学に対する関心を高め科学的才能を引き出して伸ばす教育の推進 ・とやま科学オリンピックの開催 中・高校生を対象に、数学・理科分野を中心とした幅広い思考力を問うとともに、実験・観察も取り入れた富山ならではの大会の開催 ・ふるさととやまの自然・科学探究推進事業 富山の自然を通じて科学的な考え方を養うため、自然・科学実験教室を開催 ・「科学の甲子園」「科学の甲子園ジュニア」代表チーム研修 「科学の甲子園」「科学の甲子園ジュニア」の全国大会に出場する本県代表チームの研修を実施 ・学習支援等大学生派遣事業(再掲) 県内および近県の教員志望の大学生を理科の「観察実験アシスタント」として小学校に派遣 ・スーパーサイエンスハイスクール事業 先進的な理数系教育の実施により、「科学的思考力」「自己発信力」を身につけ、さらに「探究力」を向上させ、地球的視野に立ち、新しい社会を共創することができる科学技術系人材の育成を目指す	8,515
		90
		533
		5,643
		1,216
		17,386
		5,147
		23,801
		1,888
		179,329
		12,176
		20,700
		17,284
		3,367

<p>(2)社会で生きる実践的な力の育成</p>	<p>■キャリア教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業 県内全公立中学2年生(義務教育学校8年生を含む)全員が5日間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加 ・富山型キャリア教育充実事業 ー県立高校におけるキャリア教育の充実を図るため、「アカデミック・インターンシップ」や「職業教育プログラム推進事業」などを含めた「社会へ羽ばたく17歳の挑戦」事業を推進 ・親子でチャレンジ小学生体験教室 小学5・6年生の親子で科学工作・実験に取り組み、それに関連する技術等を扱う企業等を見学 <p>■ライフプラン教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやまの高校生ライフプラン教育充実事業(再掲) 高校生の赤ちゃんふれあい体験の実施、ライフプラン教育に関する副教材の活用等 ・とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業 冊子の作成・活用や赤ちゃんのふれあい体験を通して、小・中学生が自らの生き方を考えるライフプラン教育を系統的に実施 <p>■産業教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやまの高校生マイスター育成事業 地域の産業界を牽引する職業人材の育成・定着促進を図るため、ものづくりや農業クラブ活動、資格取得に向けた生徒への支援を実施し、マイスターとして認定する 	<p>14,900</p> <p>12,900</p> <p>913</p> <p>2,000</p> <p>1,043</p> <p>3,500</p>
<p>(3)教員の資質向上</p>	<p>■教員の計画的な採用と採用者数の平準化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新】「富山で先生になろう」応援事業 優れた教員を安定的に確保するため、教員UIJターンセミナーや教員養成講座等を実施するほか、新たに教員の魅力発信等を実施する ・採用前研修事業 富山大学と連携した教員採用内定者に対する採用前研修の実施 <p>■教員が子どもと向き合いやすい環境整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校多忙化解消推進事業 教員が子どもと向き合いやすい環境を整えるため、学校での働き方改革の周知啓発や必要な環境整備等を実施 ・スクール・サポート・スタッフ配置事業 教員の多忙化を解消するため、学校における通常業務や新型コロナウイルス感染症拡大防止のための業務を支援するサポート人材を市町村の要望に応じて配置 ・【拡】部活動指導員配置促進事業 教員の負担軽減と競技力の向上を図るため、部活動指導員を配置するとともに、パスネットとやま(指導者データベース)を改修し、多様なニーズとのマッチングを推進 ・高校版スクール・サポート・スタッフ配置事業 教員の負担軽減と障害者雇用促進のため、高校版スクール・サポート・スタッフを県立学校に配置 ・退職教員等活用推進事業 インターネットを活用し、学校現場への退職教員等の活用を図る ・教育環境のデジタル化推進事業 「富山県教育DX推進会議」の運営等を通して、学校におけるデジタル環境の整備やICT教育の総合的・計画的な推進を図る ・【拡】GIGAスクール運営支援センター整備事業 学校におけるICT教育への支援体制強化のため、市町村が参加する「GIGAスクール推進協議会(仮)」を新設するとともに、県立学校の「GIGAスクール運営支援センター」の機能を強化し、情報通信技術支援員の派遣による学校現場への支援を行う <p>■教員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職務や経験等に応じた教員研修の実施 若手教員研修、中堅教員研修、管理職研修など ・教師力向上支援事業 教員が国内外の教育事情視察などにより見聞を広め、今日的な教育課題に対する確かな対応ができるよう資質向上を図る ・教師の学び支援塾事業 熟達した教員、退職教員等により若手教員のニーズに応じた研修を支援・実施し、優れた教育理念や指導技術等の継承を図る 	<p>12,000</p> <p>500</p> <p>912</p> <p>254,546</p> <p>47,521</p> <p>155,540</p> <p>2,368</p> <p>2,074</p> <p>38,932</p> <p>5,448</p> <p>4,865</p> <p>1,500</p>

(4)私立学校教育の振興	■私立学校の特色ある教育に対する支援	
	・私立学校特色教育振興事業 私立学校が行う創意と工夫を凝らした様々な特色ある教育や多様な教育ニーズへの対応等に対する支援	269,022
	・私立学校施設設備整備補助事業 魅力ある教育環境を整えるために私立学校が行う施設・設備整備に対する支援	176,374
	■私立学校への生徒就学の支援	
	・【拡】私立高等学校等生徒への修学支援事業 就学機会の確保を図るため、私立高等学校等に通う生徒の授業料や入学時納付金を支援するとともに、授業料以外の教育費に対する給付金を支給	1,513,558
	・私立小中学校生徒奨学補助金 保護者の失職等により家計が急変した私立小中学校生の授業料を減免する学校法人への支援	2,352

<参考>

活動指標

指標名	現況 R3年度	目標		指標の説明
		R3 (2021年度)	R8 (2026年度)	
普段(月～金曜日)学校の授業時間以外に1時間以上学習している児童生徒の割合	小6:62.0% 中3:70.5%	小6:70% 中3:70%	小6:70% 中3:70%	「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。」の質問に対して、「3時間以上」「2時間以上3時間より少ない」「1時間以上2時間より少ない」のいずれかの選択肢を回答した割合の合計
「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」の実施状況(中学校)	全校で実施 (R1)	現状維持	現状維持	「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業を実施している中学校、義務教育学校の割合 ※現況:R3は新型コロナウイルス感染拡大防止のため78校中22校のみ実施
高校生の赤ちゃんふれあい体験を実施した学校数(再掲)	28校 (R1)	増加させる	増加させる	県立高校における「高校生の赤ちゃんふれあい体験」を実施した学校数 ※現況:R2・R3は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止する学校もあり、数値の参考とならないため、R1の数値とする
教職員の研修や研究会の成果を教育活動に積極的に反映させている学校の割合	小:33.9% 中:38.3%	小:50% 中:50%	小:50% 中:50%	「教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか」の質問に対して、「よくしている」と回答した学校の割合